



体験活動フォーラムinながと 体験しつくす、2日間

令和2年11月22日(日)・23日(月・祝)、2日間にわたって「体験活動フォーラムinながと」がラポールゆやで開催されました。屋内では、木育や野外体験活動に関する講演や分科会が開かれ、屋外では、さまざまなアクティビティが楽しめる体験パークやワークショップブースが登場しました。

長門でしかできない 木育・体験活動を

いま、新型コロナウイルスの影響で、風通しの良い屋外での活動が注目を集めています

そんな中、今回のフォーラムでは、自然での体験活動について専門家や関係者を多数お招きし、「学び」「体験」「出会い」の3つの場を提供しました。参加者は学び、遊び、交流することによって、自然体験活動への興味が高まりました。

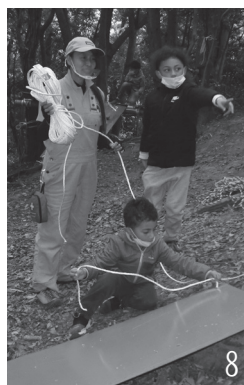
今年度は、NPO法人人と木が中心となり、長門市の森や山を生かしたオリジナルの体験プログラムの企画・普及に力を入れて取り組んでいます。

今回のフォーラムを機に、これから長門市での自然体験活動がますます広がり、充実していく予定です。

1. ツリークライミング。森、自然との一体感。専門家が安全指導を行い、自然の体を使って、木を味わうことができる。専用のロープを使って、高いところまで到達できる。



2. マウンテンバイクで坂やカーブのあるコースを走る体験 /3. 災害のときにも役立つ、火おこし体験 /4. 本格的アスレチックに挑戦 /5. 株式会社モンベルの協賛によるアウトドア用品展示 /6. 体幹も鍛えられるセグウェイ体験



7-8. 森の公園づくり。森の中にアスレチックなどの遊具が登場。スタッフと一緒に新しい遊具づくりにもチャレンジ。/9. 森のようちえんでの焚き火体験。森を探検した後におうちの人と一緒に火おこし。/10. ツリークライミングの様子。自分の力だけで自分の身体を引っ張り上げる。一番上までたどり着くと、森全体を見渡すことができた。



11. ヘビの標本づくりに興味津々。専門家の先生から危険生物の特徴を間近で教えてもらう。/12-13. これからの体験活動を考えるシンポジウム。登壇者それぞれの体験を交えながら、今後の体験活動の展開について参加者と理解を深めた。分科会などの一部は現在もオンラインで配信中。

オンライン配信はこちらから➡

